

タアサイ

ハクサイやチンゲンサイの仲間で、チンゲンサイと同じ不結球タイプになります。濃緑色の葉は肉厚で縮れ、耐寒性が強く、冬から春にかけて寒さにあうと甘みが増し、葉もおいしくなります。

10月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

作型

秋まきでは地面をはうようになる。
パスライト等で直接被覆すれば害虫防除が楽になる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名		
秋まき	■	■	■	■					○	○		■	■	■	タアサイ、緑彩

○：種まき ■：収穫

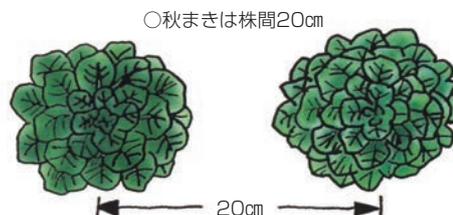
畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	50kg
畝立時施用	

- 畝幅100～120cm
- 株間20cm (2条千鳥植、条間30cm)

種まき

- 1カ所に4～5粒をまく。2～3回間引きを行い、最終株間(20cm)にする。
- 移植の場合は本葉3～4枚時に定植する。

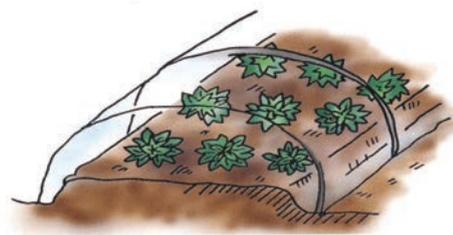


間引き

- 1回目 本葉1～2枚の頃 込み合う部分を間引く
- 2回目 本葉3～4枚の頃 2～3株に間引く (欠株のあるところに移植する)
- 3回目 本葉5～6枚の頃 1株に間引く

防寒保温

- 12月以降はトンネル被覆により良質のものを収穫する。



防除

病害虫名	耕種防除	薬 剤	防 除
アブラムシ	パスライト等をべたがけする	スタークル顆粒水溶剤 3000倍	収穫3日前まで 2回以内

収穫

- 秋まき 50～60日
- 葉組のしっかりした大株になる。



裏面はニンニクを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.330 平成30年10月16日発行

ニンニク

ニンニクはタマネギなどと同じように根もとの球根を主に食用とします。花茎の部分が一般に売られている「ニンニクの芽」と呼ばれているものです。ジャンボニンニクはリーキの仲間とされ、厳密にはニンニクと別種です。

10月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

作型

日当たりの良い保水性のある肥沃土が適し、乾燥と酸性土壌を嫌う。株元からわき芽が出るので芽かきを行い、1本立ちにする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋植え						■	■			△	△		各種在来種（各地方の） ホワイト六片

△：植え付け ■：収穫

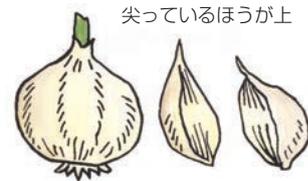
畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け15日前頃に土と良く混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 畝幅60～80cm
- 株間15cm
- 条間15～20cm（2条）

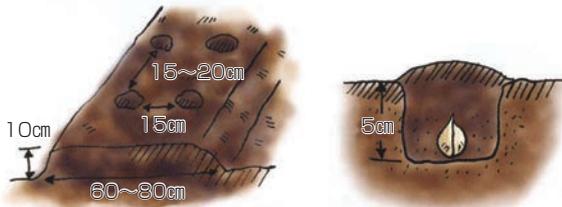
種球の準備

- 球根をばらして、傷や病気のないものを使う。



定植

- 株間15cm、深さ5cmの植え穴に1片ずつ芽を上にして植え付ける。
- 植え付け後は十分灌水する。



芽かき

（草丈10～15cmの頃）

- 元気の良い芽を1芽残し、他の芽はかきとる。

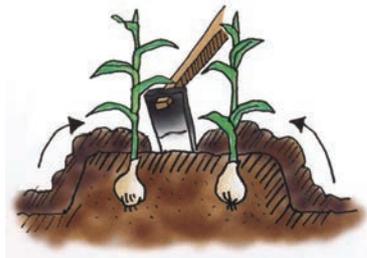
つぼみ摘み

- 春にとう立ちして、つぼみがついていたら摘み取る。（葉の先端より長く伸びてから切る。）



追肥と土寄せ

- 11月と春先（3月下旬頃）芽が伸びはじめる頃に野菜専用肥料5～7kg/aを施用し土寄せする。



収穫

- 茎葉が黄色に変色し、枯れてから収穫する。（5月下旬～6月上旬）
- 晴れた日に収穫を行う。
- 根を切って乾かし、茎を切り風通しの良い所で保存する。

防除

病虫害名	耕種防除	薬 剤	防 除
べと病	排水を良くする	Zボルドー	500倍
さび病	通風を良くする	ストロビーフロアブル	2000倍 収穫7日前まで 3回以内

裏面はタアサイを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.330 平成30年10月16日発行